

環境活動レポート

環境への取り組み

Environmental Activities

地球環境の保全と地域社会や自然との調和



大東建託株式会社 特例子会社

大東コーポレートサービス株式会社

作成日：2020年11月1日

もくじ

1	組織の概要	P1
2	環境方針	P2
3	実施体制	P3
4	環境目標（中長期）	P4
5	環境目標及び実績・評価	P5～6
6	環境活動計画の取組結果・評価 及び次年度取組計画	P7
7	環境関連法規等の遵守状況の確認	P8
8	代表者による全体評価と見直し結果	P9

1. 組織の概要

■ 事業所名

大東コーポレートサービス株式会社

■ 代表者

代表取締役社長 福田 和宣

■ 会社の所在地

名称	所在地
本社	〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番8号 スフィアタワー天王洲
品川E1	〒108-0075 東京都港区港南二丁目1番1号 品川イーストワンタワー
浦安	〒279-0032 千葉県浦安市千鳥15番地5 浦安市ワークステーション内
北九州	〒806-0031 福岡県北九州市八幡西区熊西一丁目2番5号 ランデージ黒崎ビル

■ 主たる事業の種類

- ・大東建託及びグループ会社からの事務作業の受託
- ・名刺作製、看板製作、チラシ・パンフレットの印刷、図面製本、メールセンターの運営管理 他

■ 事業規模 (2019年度)

	単位	
資本金	百万円	100
売上高	百万円	2,060
期末従業員数	人	367
事業所床面積	m2	3,185

■ 事業年度

4月1日～翌年3月31日

■ 連絡先

環境管理責任者 業務部 次長 多田 弘
TEL : 03-6718-9300
FAX : 03-6718-9268
E-mail : th003674@kentakou.co.jp

2. 環境方針

大東コーポレートサービス株式会社 環境方針

■ 環境理念

私たちは全ての事業活動において、省資源、再利用、再資源（3R）に努め、地球環境の保全に積極的に取り組みます。

■ 基本方針

私達は環境理念の基、以下の方針を定め全員参加で取り組みます。
方針に沿った活動目標の設定・遂行及び目標の見直しを通じて継続的な改善を促進します。

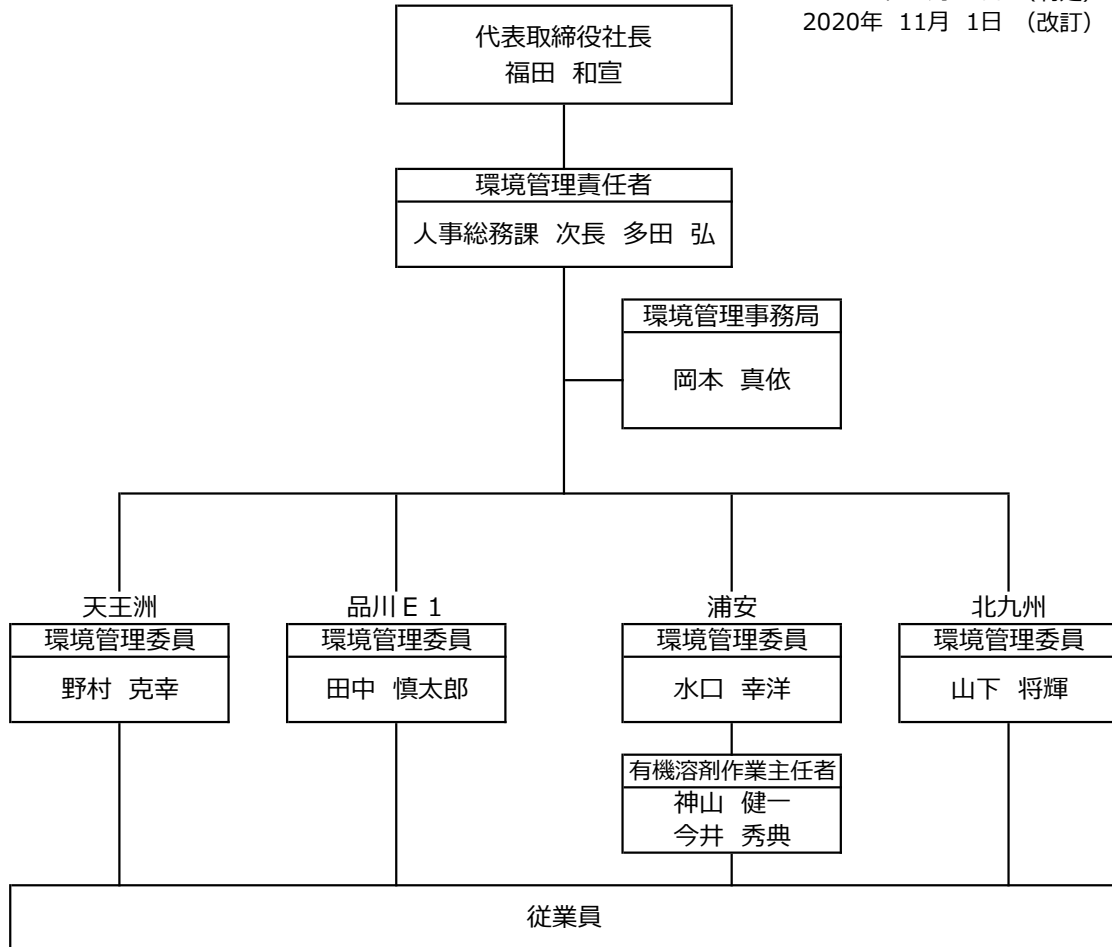
- 1.法規制：環境に関連する法規を遵守し、事業活動を行います。
- 2.教 育：啓蒙活動を継続して、全社員が環境に優しい活動を率先して取り組みます。
- 3.省資源：事務用品の使用状況を把握し、不必要な購入を控え、資源の消費を抑えます。
- 4.再利用：梱包材の再利用を行い、環境負荷の低減に努めます。
- 5.再資源：資源のリサイクルを推進し、環境負荷の低減に努めます。
- 6.創 造：人に優しい、より環境負荷の低減につながるサービスを提供します。

策定年月日 2010年 2月 26日（初版）
2018年 4月 1日（改訂）

大東コーポレートサービス株式会社
代表取締役社長 福田 和宣

3. 実施体制

2010年 2月26日 (制定)
2020年 11月 1日 (改訂)



■ 関係者の権限と役割

- | | |
|----------------|--|
| 代表取締役社長 | <ul style="list-style-type: none"> ① 環境方針の決定 ② 環境目標の決定 ③ 環境経営システム全体の評価と見直し ④ 環境管理責任者の任命 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ① 環境目標の達成・状況把握及び改善指示 ② 取組状況の社長への報告 ③ 環境経営システム及び環境方針の評価と見直し |
| 環境管理事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ① 情報収集及びデータ分析 ② 問い合わせの対応 ③ 環境活動レポート作成 ④ 環境目標・環境活動計画の進行管理 ⑤ 環境管理責任者へ取組状況の報告 ⑥ 文書・記録の管理 |
| 環境管理委員 | <ul style="list-style-type: none"> ① 従業員の環境活動推進の評価 ② 環境目標達成に向けた取組実行の指導 ③ 環境負荷及び取組の自己チェック実施 ④ 法規制の遵守状況チェック |
| 従業員 | <ul style="list-style-type: none"> ① 活動の推進 (具体的取組の計画・対策・実施・改善・周知) ② 自分の推進する環境活動の状況をグループリーダーに報告 |

4. 環境目標（中・長期）

目標		具体的取組	
二酸化炭素排出量の削減	購入電力	<ul style="list-style-type: none"> ・業務効率化による残業時間の削減と「ノー残業デー」の設定・実施 ・PCモニターの離席時消灯の励行 ・照明のこまめな消灯の励行 ・クールビズ・ウォームビズの実施 	
	燃料	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ・アイドリングストップ ・不要な積荷を下ろす ・週一回の車内点検と月一回の燃費確認 	
	産業廃棄物	産業廃棄物処分量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷物の刷り直し・ヤレの削減
		包装材の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・納品物の簡易包装の推進、多重包装の見直し
		事務所内廃棄物の抑制と分別	<ul style="list-style-type: none"> ・紙・ビニール・電池・その他 分別BOXの設置 ・廃棄物の削減、リサイクルの実施
水使用量削減	節水活動	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃等使用時の節水の励行、水道水使用量の削減 	
省資源	グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用備品ならびに消耗品の購入についてグリーン製品の優先購入の推進 	
	コピー用紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化および両面印刷の推進、無駄な印刷の削減 	
化学物質使用量の把握	排出量管理	<ul style="list-style-type: none"> ・大気、公共用水、土壌への排出確認 ・当事業所における埋め立て処分の確認 	
	移動量管理	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道への移動確認 ・当事業所の外への移動 	
	保管量管理	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所内での保管 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・フロン回収量、破損量管理 	
産業廃棄物処理適正化	電子マニフェスト運用の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物排出時のマニフェスト情報の登録（3日以内） 	
	不法投棄撲滅	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての搬出先処分場の現地確認 	
違法排水の防止	排水状況の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・自主管理要領に則った運用と測定・記録の継続 ・自動現像機：週3回、スクリーン版現像機：週1回の水交換の実施 ・年1回の排水水質の測定、記録の保存（5年間） ・自主管理要領に則って洗浄・水交換の運用の実施 	
環境活動	リサイクル運動・社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルキャップを回収、推進協会への送付の継続 	
	自然生態系保全のための活動	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員による河川・海岸の保全・植林活動等の実施 	
	従業員を対象とした環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育のための企画・立案、実施 	

5-1. 実績・評価

原単位基準
 生産高 241,684 (kg)
 売上高 2,060,633 (千円)
 従業員数 367 (人)

環境目標項目		単位	2019年	2018年	前年比	評価	今後の取り組み課題
二酸化炭素排出量 ※ (1)		Kg-CO2	21.2 1.0	19.8 1.1	1.3	△	省エネ徹底の継続
エネルギー消費	購入電力	kwh	実数 310,509.5 売上高原単 (億円) 15,073.3	303,348.9 16,576.4	7,160.6	△	節電の徹底継続
	灯油	L	実数 0.0 売上高原単 (億円) 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	/	/
	都市ガス (LPG)	Nm3	実数 8,223.0 売上高原単 (億円) 399.2	7,969.0 435.5	254.0	△	省エネ徹底の継続
	ガソリン	L	実数 1,202.6 売上高原単 (億円) 58.4	865.2 47.3	337.4	△	低燃費運転を継続
	その他エネルギー (蒸気)	MJ	実数 0.0 売上高原単 (億円) 0.0	0.0 0.0	0.0	/	/
	その他エネルギー (冷水)		実数 0.0 売上高原単 (億円) 0.0	0.0 0.0	0.0	/	/
	その他エネルギー (その他)		実数 0.0 売上高原単 (億円) 0.0	0.0 0.0	0.0	/	/
産業廃棄物排出量 ※ (2)	再使用	kg	実数 0.0 売上高原単 (億円) 0.0	0.0 0.0	0.0	/	/
	再生利用	kg	実数 14,280.0 売上高原単 (億円) 693.2	12,200.0 666.7	2,080.0	△	分別廃棄の徹底 廃棄物削減を継続
	熱回収	kg	実数 0.0 売上高原単 (億円) 0.0	0.0 0.0	0.0	/	
	単焼却	kg	実数 360.0 売上高原単 (億円) 17.5	1,020.0 55.7	-660.0	○	
	産業廃棄物最終処分	kg	実数 0.0 売上高原単 (億円) 0.0	0.0 0.0	0.0	/	
	産業廃棄物排出量 合計	kg	実数 14,640.0 売上高原単 (億円) 710.7	13,220.0 722.4	1,420.0	△	
水使用量の削減 ※ (3)		単位	2019年	2018年	前年比	評価	
上水	m3	実数 638.0 ※スフィアタワー天王洲 計上なし 売上高原単 (億円) 31.0	628.0 34.3	10.0	△	節水活動の継続	
再生水	m3	実数 0.0 売上高原単 (億円) 0.0	0.6 0.0	-0.6	/		
地下水	m3	実数 0.0 売上高原単 (億円) 0.0	0.0 0.0	0.0	/		
資源の削減		単位	2019年	2018年	前年比	評価	今後の取り組み課題
グリーン購入率 (購入割合)	%	実数 52.8	45.1	7.7	○	グリーン購入対象商品推進の継続	
コピー用紙購入量	kg	実数 20,356.0 売上高原単 (億円) 988.2	16,818.0 919.0	3,538.0	×	使用量削減を継続	

2019年度実績

化学物質使用量の把握 ※ (4)	単位	排出量 (漏洩)				移動量		保管量	今後の取り組み課題
		大気への排出	公共用水域への排出	当該事業所における土壌への排出	当該事業所における埋立処分	下水道への移動	当該事業所の外への移動	当該事業所内での保管	
P R T R 法 対 象 物 質	フロン類	kg	0	0	0	0	0	0	法令順守・確認継続
	トルエン	kg	0	0	0	0	0.00	0	
	キシレン	kg	0	0	0	0	16.47	0	
	エチルベンゼン	kg	0	0	0	0	3.95	0	
	1,2,4-トリメチルベンゼン	kg	0	0	0	0	8.88	0	
	1,3,5-トリメチルベンゼン	kg	0	0	0	0	3.25	0	
	ヘキサメチレンジイソシアネート	kg	0	0	0	0	11.60	0	
	その他物質	kg	0	0	0	0	0.00	0	
	合計		0	0	0	0	44.15	0	
産業廃棄物処理の適正化									今後の取り組み課題
	電子マニフェスト運用の定着	適正運用							法令順守・確認継続
	不法投棄撲滅	処分業者現地確認済							法令順守・確認継続
違法排水の防止 ※ (5)		単位	排水量 (m3)	排出量 (g)					今後の取り組み課題
水質汚濁物質	BOD		0	0					法令順守・確認継続
	COD		0	0					
	合計		0	0					
環境活動			2019年	2018年	前年比				今後の取り組み課題
	エコキャップ回収	個数	1,413,075	1,133,437	279,638				今後も回収継続
	自然生態系保全のための活動	森林保全活動体験に参加							法令順守・確認継続
	従業員を対象とした環境教育	総合会議で環境方針や具体的な取り組みについて説明を実施							法令順守・確認継続

- (1) 各項目を (kg-CO2) に換算、合計を二酸化炭素排出量とする。サプライチェーン集計資料より算出。
- (2) 産業廃棄物処分量は、中間施設へ依頼した量で計上。
- (3) 総排水量 = 水使用量、本社ビル (スフィアタワー天王洲) は、水使用量の把握ができないため計上なし。
- (4) 外部機関による使用量の把握と管理 (関係法令の遵守) とする。
- (5) 2020年2月実施確認の結果。

5-2. 実績・評価【補足資料：生産量】

2019年度 製品の生産量概算

製品名	単位	生産量	単位	納品数	単量 (kg)	
紙類	名刺	kg	6,081	ケース	60,805	0.1
	建物定期報告書	kg	86,338	冊	863,375	0.1
	竣工報告書	kg	2,394	冊	4,787	0.5
	その他の印刷物	kg	101,534	※資源投入量から算出		
その他	常設看板等 (ハッポート)	kg	2,386	枚	2,386	1
	現場看板等 (プラダン)	kg	2,200	枚	2,200	1
	注意看板 (ハッポート)	kg	5,153	枚	5,153	1
	注意看板 (アルミ複合版)	kg	5,040	枚	5,040	1
	置き型看板	kg	21,920	個	2,192	10
	立て型看板	kg	8,640	個	864	10
生産量概算合計		kg	241,684			

■ 主な製品

名刺



建物定期報告書



常設看板



置き型看板



6. 取組結果と評価、次年度取組

目標		具体的取組	取組評価	今後（次年度）の取組	
二酸化炭素排出量の削減	購入電力	<ul style="list-style-type: none"> ・業務効率化による残業時間の削減と「ノー残業デー」の設定・実施 ・PCモニターの離席時消灯に取組み、エネルギー使用量を削減 ・照明の間引き点灯、一斉消灯に取組み、エネルギー消費量を削減 ・クールビズ・ウオームビズに取り組む 	計画通りに、取り組んだが、電気使用量は増加した	取組み継続	
	燃料	<ul style="list-style-type: none"> ・車内に速度厳守・アイドリングストップの表示 ・エアコン設定温度・風量は弱固定 ・不要な積荷を下ろす ・週一回の車内点検と月一回の燃費確認 	計画通りに、取り組んだが、燃費は悪化した	取組み継続	
	産業廃棄物	産業廃棄物処分量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷物の刷り直し・ヤレを削減 	計画通りに、取り組んでいる	取組み継続
		包装材の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・納品物の簡易包装の推進、多重包装の見直し ・ダンボールを回収し梱包のクッション材として再利用 	計画通りに、取り組んでいる	取組み継続
		事務所内廃棄物の抑制と分別	<ul style="list-style-type: none"> ・紙・ビニール・電池・その他 分別BOXの設置 ・廃棄物の削減、リサイクルを実施 	分別の周知ができています	取組み継続
水使用量削減	節水活動	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃等使用時の節水の励行し、水道水使用量の削減 	計画通りに、取り組んだが、水道使用量は増加した	取組み継続	
省資源	グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用備品ならびに消耗品の購入についてグリーン製品の優先購入の推進 ・3ヶ月に1回の頻度で啓蒙を継続 	計画通りに、取り組んでいる	取組み継続	
	コピー用紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化および両面印刷の印刷を推進、無駄な印刷の削減 	計画通りに、取り組んでいる	取組み継続	
化学物質使用量の把握	排出量管理	<ul style="list-style-type: none"> ・大気、公共用水、土壌への排出確認 ・当事業所における埋め立て処分の確認 	計画通りに、取り組んでいる	取組み継続	
	移動量管理	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道への移動確認 ・当事業所の外への移動 	計画通りに、取り組んでいる	取組み継続	
	保管量管理	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所内での保管 	計画通りに、取り組んでいる	取組み継続	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・フロンの回収量、破損量管理 	計画通りに、取り組んでいる	取組み継続	
産業廃棄物処理適正化	電子マニフェスト運用の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物排出時にはマニフェスト情報を必ず登録（3日以内） 	計画通りに、取り組んでいる	取組み継続	
	不法投棄撲滅	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての搬出先処分場の現地を確認 	計画通りに、取り組んでいる	取組み継続	
違法排水の防止	排水状況の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・自主管理要領に則った運用と測定・記録を継続 ・自動現像機：週3回、スクリーン版現像機：週1回の水交換を実施 ・年1回の排水水質の測定、記録の保存（5年間） ・自主管理要領に則って洗浄・水交換の運用を実施 	計画通りに、取り組んでいる （排水検査2020年2月に実施）	取組み継続	
環境活動	リサイクル運動・社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルキャップを回収、推進協会への送付を継続 	計画通りに、取り組んでいる	取組み継続	
	自然生態系保全のための活動	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員による河川・海岸の保全・植林活動の実施 	計画通りに、取り組んでいる	環境教育の検討	
	従業員を対象とした環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育のための企画、実施 	計画通りに、取り組んでいる		

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認

分類	環境関連法規等	確認項目	確認日	適否
①排出等の規制、公害防止関連の法律	環境基本法	下記排出規制、公害防止関連の法律の遵守	2020年3月24日	適
	大気汚染防止法	印刷時に使用する有害化合物及び粉じんの排出の規制、対応	2020年3月24日	適
	水質汚濁防止法	化学物質の下水への流出など	2020年3月24日	適
	下水道法	公共下水道への排水 一日50m3以上の汚水を公共下水道に排水する場合	2020年3月24日	適
	騒音規制法	特定施設の騒音が規定値を越える際に届出を必要とする。 第3種区域（準工業地域）の規制 昼間（8～19） 65dB 朝夕（6～8、19～22） 60dB 夜間（22～8） 50dB	2020年3月24日	適
	振動規制法	特定施設の振動が規定値を越える際に届出を必要とする。 第3種区域（準工業地域）の規制 昼間（8～19） 65dB 夜間（19～8） 60dB	2020年3月24日	適
	悪臭防止法	特定悪臭物質の取扱状況の確認、近隣からの苦情の有無	2020年3月24日	適
	工業用水法	地下水の利用状況	2020年3月24日	適
	自動車NOx・PM法	特定施設の新設 自動車需要を大きく生じさせる用途（「特定用途」劇場・ホテル・店舗・事務所・工場等）で一定規模以上のもの・「窒素酸化物重点対策地区」、「粒子状物質重点対策ディーゼル車 使用車両のうち、排出基準に適合していない車両・東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県の一部(特定地域)	2020年3月24日 2020年3月24日	適 適
	②廃棄物、リサイクル、循環型社会形成に関する法律	循環型社会形成推進基本法	廃棄物のうち有用な物品の再使用、再生利用など	2020年3月24日
廃棄物処理法		産業廃棄物の適正処理（委託） マニフェスト伝票の保管 産業廃棄物 印刷紙 廃プラスチック	2020年3月24日	適
資源有効利用促進法		商品包装紙の再利用	2020年3月24日	適
容器包装リサイクル法		商品包装紙の再利用	2020年3月24日	適
グリーン購入法		ガイドラインに沿った購入	2020年3月24日	適
③地球環境、省エネルギー、化学物質に関する法律	オゾン層保護法	フロン類の使用を抑制	2020年3月24日	適
	省エネ法	各事業所のエネルギー使用量の把握、改善	2020年3月24日	適
	地球温暖化対策法	各事業所の二酸化炭素排出量の把握、改善	2020年3月24日	適
	フロン回収・破壊法	冷媒用フロンの回収・破壊の措置・エアコン、冷蔵・冷凍機器（ショーケース、自販機、冷水器等々含む）	2020年3月24日	適
	P R T R 法	規制科学物質の適正管理（入出量など）	2020年3月24日	適
	P C B 法	PCB廃棄物の適正処理	2020年3月24日	適
	毒物及び劇物取締法	劇物の取扱・管理の状況	2020年3月24日	適
④環境情報、環境教育に関する法律	環境教育推進法	環境活動レポートの作成、定期的な環境教育の実施など	2020年3月24日	適
⑤その他関連法規				
⑤-2防災、労働安全、その他に関する法律	消防法	火災の予防 定期的な避難訓練の実施	2020年3月24日	適
	労働安全衛生法 (有機則、特化則含)	労働者の健康に重大な影響のある化学物質の保管状況、使用状況の管理	2020年3月24日	適

8. 代表者による全体評価と見直し結果

■ 環境関連法規への違反・訴訟等について

項目	確認	件数	適否
1 関連法規に係る違反	レ	0	適
2 関連法規に係る訴訟	レ	0	適
3 関連法規に係る行政指導	レ	0	適
4 関連法規に係る行政処分	レ	0	適

■ 見直し関連情報

項目	確認	コメント
1 環境目標及び目標達成状況	レ	おおむね目標通り達成できました
2 環境活動計画及び取組実施状況	レ	目標通り達成できました
3 環境関連法令要求一覧及び遵守状況	レ	記録に記載いたしました
4 地域コミュニケーション・対応記録	レ	近隣クレームなし
5 問題点の是正・予防措置の実施状況	レ	特に問題ありません

■ 代表者による全体評価

2019年度は、前年度よりエネルギー消費量は若干増加、産業廃棄物排出量は大幅に減少となりました。
今後も、業務効率化を推進し、節電と経費節減を目指すとともに、法令遵守の元、業務を行っていきます。
環境活動については、引き続き従業員に対する啓蒙・教育を行い今期取り組み項目を達成するよう活動していきます。

2020年 11月 1日 大東コーポレートサービス株式会社
代表取締役社長 福田 和宣